

蒼潮

第35号

(令和3年3月)

長崎県漁業士連絡協議会

＜令和2年度長崎県漁業士認定証授与式＞

令和2年10月27日に長崎県庁特別応接室において、令和2年度長崎県漁業士認定証授与式が執り行われ、令和元年度末に認定された漁業士のうち、9名の漁業士が参加し、中村法道長崎県知事から認定証を授与されました。

授与式では、知事から「今年で最終年度を迎える水産業振興基本計画の基本理念である『漁業を担う人材を確保し、地域の柱となる力強い水産業の育成』実現のため、施策を進めていきたい」との挨拶がありました。

また、出席した漁業士を代表して、中野漁協所属の綾香良浩指導漁業士（県漁業士連絡協議会副会長）から挨拶を行い、「漁業士としての自覚と責任をもって、更なる漁村の活性化に尽力したい」との抱負を述べられました。

式の中では、知事と出席した漁業士との間で歓談の時間が設けられ、島原半島南部漁協所属の本田郁弥青年漁業士からは「地元のワカメ生産者が増えるよう取組んでいきたい」と意気込みを語られました。

式終了後は、県庁大会議室で漁業士記章の授与式が執り行われました。斎藤晃水産部部長から漁業士記章が渡された後、県漁業士連絡協議会 荒木会長から「それぞれが持つ優れた技術と経験を存分に活かし、本県水産業の活性化に力を発揮していただきたい」との挨拶がありました。

新しい仲間を加え、長崎県漁業士連絡協議会の会員は、168名（指導漁業士116名、青年漁業士52名）となりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、漁業士認定証授与式は規模を縮小しており、例年行っている水産部幹部職員との懇談会は実施できませんでした。今後各地区水産業普及センターを窓口とし、県・漁業士と連携を図りながら、本県水産業の活性化に努めてまいりたいと思います。



認定証授与の様子



山下副会長挨拶
(荒木会長代理)



綾香指導漁業士
による代表挨拶



中村知事との記念撮影



荒木会長挨拶



斎藤部長との記念撮影

＜令和２年度長崎県水産業ガイダンス＞

令和２年１１月１９日に長崎県立長崎鶴洋高等学校と長崎県庁において、長崎県水産業ガイダンスが開催されました。この取組みは、水産業への就業を目指す高校生に本県水産業への理解を深めてもらい、本県水産業への就業を促すことを目的に、ながさき漁業伝習所本所（長崎県水産部水産経営課内）が主催したものです。

当日は、長崎鶴洋高等学校水産科の１年生と２年生の生徒が参加し、１年生は長崎鶴洋高等学校で長崎県の水産業の概要や漁業就業支援について学んだ後、平戸市の若手漁業者による講和に熱心に耳を傾けていました。

２年生向けのガイダンスでは、沿岸漁業、水産加工業、漁業系統団体、船舶機器関連企業など、水産関係の幅広い分野の講師を招聘し、各々が関心のあるガイダンスを受講しました。長崎県漁業士連絡協議会からは、綾香良浩副会長（県北地区）と城山健一郎青年漁業士（下五島地区）に講師として参加していただき、綾香良浩副会長には定置網漁業、城山健一郎青年漁業士には養殖業のガイダンスを担当していただきました。生徒たちはメモを取りながら熱心に話を聞いていました。

ガイダンス全体を通して、参加した生徒からは、「ホームページやSNSなどでは知りえない情報を直接聞くことができた」、「自分の将来を考える良いきっかけになった」、「就職先を検討する参考になった」等の感想があがりました。このガイダンスを通して、１人でも多くの生徒に水産業界に関心を持ってもらい、将来、本県水産業へ就業してもらえれば幸いです。

また、長崎県漁業士連絡協議会としても、今後も本県担い手確保へ向けた取り組みに積極的に参加していきたいと思えます。



１年生へのガイダンス



綾香副会長の講義



城山青年漁業士の講義（リモート参加）

＜令和２年度経営塾事業「経営自立集中講座」＞

県では、漁業技術を伝承する場となっていた番屋の役割を担う研修会を年２回開催しています。平成３０年度からは「経営自立集中講座」として、生産拡大や経費削減対策から、経営管理の基礎といった幅広い分野を学ぶための講座が開催されています。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より遅い開催となりましたが、令和２年１１月２６、２７日に長崎県庁において第１回目の経営自立集中講座が開催されました。漁船漁業や養殖漁業に携わる若手を中心に２６名の漁業者が受講しました。

漁業士会からは、瀬崎司指導漁業士（上五島地区）が受講しました。

講座では、フルノ九州販売株式会社による最新鋭の船舶機器の紹介や株式会社ヤマスによる水産物の流通に関する講義といった、幅広い分野の講義が行われていました。

また、渡部達春元指導漁業士（県南地区）に漁労技術の講師として参加していただきました。漁具使用した講義を行っていただき、受講生は実際の漁具に触れながら、渡部達春元指導漁業士に質問を行っていました。さらに岡部聖二指導漁業士（長崎地区）が「漁村リーダーとの意見交換」に講師として参加していただき、参加者と意見を交わしました。

長崎県漁業士連絡協議会は、今後も漁業士としての自己研鑽や若手漁業者への指導力強化のため、積極的に研修会等に参画していきたいと思います。



講義の様子



集合写真

＜第23回全国青年漁業者交流大会＞

令和2年12月2日に「第23回全国青年漁業者交流大会長崎県大会」が開催されました。

（主催：長崎県漁業協同組合連合会、長崎県漁協青壮年部連合会 後援：長崎県）

今年度は、感染症拡大防止策として、発表者が事前に、発表している姿を納めた動画を事務局に提出され、提出された動画を元に審査が行われました。

長崎県漁業士連絡協議会からは、県内地区の平田政実指導漁業士が、諫早湾漁協の力キ養殖に関する取組を発表しました。

また、九十九島漁業協同組合小佐々青年部と長崎鶴洋高等学校の生徒が日頃から実践してきた水産業に関する技術や地域活動等の成果を発表しました。

審査の結果は以下のとおりとなりました。

○最優秀賞

『力キ養殖の導入から基幹漁業化まで～地域ぐるみでの産業化と地域活性化～』

県南地区漁業士会 平田政実氏

【内容】

諫早湾漁協が有明海で始めて垂下式力キ養殖を導入してから、ブランド力キ「華漣」の創出、力キ養殖を地元漁協水揚げの6割を占める基幹漁業にまで育てた取組み

○優秀賞

『藻場回復活動を通じての地域連携について！！』

九十九島漁業協同組合小佐々青年部 田島巧氏

○特別優良賞

『ドローンの新たな活用法について』

長崎県立長崎鶴洋高等学校 大平茉季奈美氏、大井出涼氏、藤原彩美氏、宮崎康輔氏



審査の様子（動画審査）

なお、最優秀賞の平田政実指導漁業士と優秀賞の田島巧氏は、令和2年3月2日にJF全漁連（全国漁業協同組合連合会）主催の「第26回全国青年・女性漁業者交流大会」に出場しました。

本大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、リモート発表を取り入れた大会となりました。

審査の結果、第4分科会地域活性化部門において、県南地区漁業士会の平田政実指導漁業士が最高賞の農林水産大臣賞を受賞されました。また、第5分科会多面的機能・環境保全部門において、九十九島漁業協同組合小佐々青年部田島巧氏が水産庁長官賞を受賞され、本県から発表した2団体はいずれも入賞されました。

今回の発表内容が本県及び全国の漁村青壮年部で共有され、活動意欲の向上や沿岸漁業の振興につながる事が期待されます。



全国大会で発表する平田漁業士



全国大会で発表する田島氏

＜令和２年度漁業士感謝状授与式＞

令和２年１２月２３日に島原振興局特別会議室において、令和元年度末をもって、漁業士を退任された諫早湾漁協所属の野田清一元指導漁業士と有家町漁協所属の渡部達春元指導漁業士への感謝状の授与式が執り行われました。

西水産部次長から感謝状を授与した後、野田清一元指導漁業士と渡部達春元指導漁業士から挨拶がありました。

最後に、出席者と退任漁業氏との間で歓談を行い、これまでの漁業士会活動での思い出話に花を咲かせていました。

野田清一元指導漁業士は、昭和６３年に漁業士認定され、平成２２年から平成３０年までの８年間の間、長崎県漁業士連絡協議会の会長を務めていただき、漁業士会活動に多大なる尽力をいただきました。

また、渡部達春元指導漁業士は、平成１７年に漁業士認定され、高校生の漁業研修の受入れや県の経営塾事業の講師を務めていただく等、本県水産業の担い手活動にご協力をいただきました。

長年の漁業士会活動、大変お疲れ様でした。



感謝状授与の様子



感謝状授与の様子



集合写真

<水産教室の開催>

長崎地区漁業士会では、子供たちが漁業や魚に触れ合う機会をつくることで、地元の水産業や水産物への興味・関心を高めるとともに、子供たちの中から、漁村を支える人が出てくることを期待し、各地で水産教室を開催しています。

今年度は、7月から11月にかけて、管内の小中学生延べ143名を対象に、地元水産業や食育に関する講話、体験学習及び動画を用いた魚の捌き方・簡単レシピの紹介等を計4回開催しました。

◎大崎中学校（西海市大島町）

開催日：令和2年10月15日

受講者：西海市立大崎中学校 1年生 37名

講師：山下会長、西海市水産課 松尾主事

協力：有限会社大島水産種苗、西海大崎漁協、西海市水産課

内容：今年度は、新型コロナの影響により、例年のような調理実習(地元で昔から伝わるすり身づくり)はできませんでしたが、その替わり、校外活動など形を変えて実施しました。

まず午前中は、山下会長によるロープワークの指導と、西海大崎漁協と地元養殖業者の協力による養殖トラフグへの餌やり体験を実施しました。はじめは、不安定な筏の上を、怖くて歩けない生徒もいましたが、それもすぐに慣れ、楽しそうに餌やりをしていました。

午後からは、「ながさきの水産業 -魚が食卓に届くまで-」と題し、水産業の魅力について講義を行いました。山下会長からは、「漁業者は獲るだけが仕事ではなく、藻場保全など、自然環境を守る仕事もしていること」、「農林水産業は西海市の基幹産業。本日の話を聞いて、この中から水産業を目指す人が出てくれることを期待したい。」とのメッセージが伝えられました。

また、西海市水産課の松尾主事は、今の仕事のやりがいについて、「漁業者から『ありがとう』と言われた時」とエピソードを交えて説明し、生徒たちはその話に熱心に耳を傾けていました。



ロープワーク実習



養殖魚への餌やり体験



講話①（山下会長）



講話②（西海市水産課）

◎大島東小学校（西海市大島町）2回目

開催日：令和2年11月6日

受講者：西海市立大島東小学校 5年生 41名

講師：山下会長、料理研究家 赤崎先生

協力：有限会社大島水産種苗、西海大崎漁協、西海市水産課

内容：今年度2回目の水産教室では、はじめに、山下会長によるロープワークの指導と西海大崎漁協と地元養殖業者の協力による養殖トラフグへの餌やり体験を実施しました。餌やりの体験中、予定にはなかったマダイの水揚げも見学させてもらい、児童たちは大きく育った養殖魚を間近で見ることができ、貴重な体験になったと思います。

その後は、学校へ戻り、アジの捌き方や調理方法について動画を用いて紹介しました。今回は、事前に収録したアジの捌き方やアジの簡単レシピの紹介動画を流し、各講師がそのポイントを解説するという、これまでにない新たなスタイルに挑戦しました。

各講師から、「自宅でご家族と一緒にやってみよう」との呼びかけもあり、実際にその翌日にはアジを捌いてみた児童もいるようです。

例年のような対面での調理実習が難しい状況にありますが、今後も工夫を凝らし、引き続き、魚食普及に努めたいと考えています。



ロープワーク実習



養殖魚への餌やり体験①



養殖魚への餌やり体験②



動画を用いたアジの捌き方紹介（山下会長）



動画を用いたアジの簡単レシピ紹介（赤崎先生）



食育講話（赤崎先生）

◎野母崎小中一貫「青潮学園」（長崎市野母町）

開催日：令和2年11月24日

受講者：青潮学園(長崎市立野母崎小学校) 6年生 24名

講師：三浦指導漁業士、岡部指導漁業士、大戸指導漁業士、松村青年漁業士

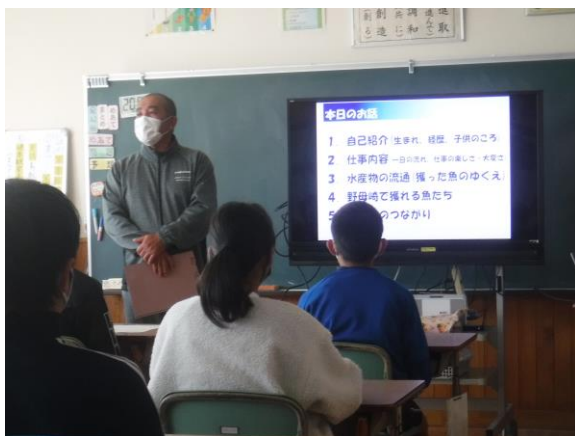
内容：今年度は、野母崎地区で実際に漁業を営む人から話を聞くことで、水産業への興味・関心を高めるとともに、地元・野母崎の魅力や、そこに生きる人を知る、ふるさと教育の一貫として開催しました。

はじめに、三浦漁業士が、「野母崎に生きる人をもっと知ろう！ - 水産業ってどんな仕事？-」と題し、体験談を交えながら、漁業の面白さや大変さ、さらには、自身の生まれ故郷である野母崎の魅力について講話を行いました。

三浦漁業士からは、「漁業は自然相手の仕事。過酷な仕事であるが、その分やりがいもある」、「魅力あふれる野母崎に住んでいることを誇りに思ってもらいたい」など、熱いメッセージが送られ、児童たちはその話に、熱心に耳を傾けていました。

講話の後には、岡部漁業士、大戸漁業士、松村漁業士も参加しての質問タイム。児童たちからは多くの手が上がり、その一つ一つに、4人の漁業士が丁寧に答えていました。

今回は、例年のような魚の解剖実習はできませんでしたが、その替わり、地元の水産業を深く知るよい機会になったと思います。



講話の様子（三浦指導漁業士）



児童からの質疑応答①（岡部指導漁業士）



児童からの質疑応答②（大戸指導漁業士）



児童からの質疑応答③（松村青年漁業士）

＜水産教室の開催＞

県南地区漁業士会では、水産物の消費拡大や地元漁業を知ってもらうことを目的に、島原半島及び諫早市の学校などで生徒や保護者などを対象に、地域漁業の紹介や魚料理を中心とした水産教室を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で感染症対策をしながらの開催となりました。

（長崎県立島原商業高校）

11月27日に家政科2年生35名を対象に、岸本漁業士と大場漁業士を講師に開催しました。

岸本漁業士がタコのぬめり取りとゆで方、マダイのさばき方、箸を使ったアラカブ（カサゴ）のエラと内臓除去の実演を行いました。その後、班に分かれて、アラカブの味噌汁、タコのカルパッチョ、マダイとタコの刺身作りに挑戦しました。アラカブは1人1尾ずつ調理しましたが、丸ごとの魚を調理したことが少ないため、ウロコがうまく取れないなど苦労している生徒も居ましたが、最後には美味しそうな料理が完成しました。作った料理は生徒達が美味しく食べていました。

学校の授業では魚料理をほとんど作らないそうですが、気に入った料理があれば、家で魚さばきや調理に挑戦してもらえたらと思います。



マダイの捌き方



タコのゆで方



ゆでタコの取り上げ



アラカブ捌き



刺身作り



試 食

県北地区漁業士会

「水産教室等の開催」

県北地区漁業士会では、管内の学校等で、地域漁業の紹介や「お魚料理教室」を中心とした水産教室を開催しており、令和２年度は７校を対象に計９回、女性グループを対象に計１回開催しました。

魚離れが進行していると言われていますが、子どもも大人も実際に調理した魚を美味しく食べており、苦手な人はほとんどいませんでした。このようなことから、魚離れの原因は単に魚が苦手なのではなく、日頃から魚に触れる機会や調理する機会が減っているため、そうした機会を増やすことが魚食普及に大事だと活動を通じて感じています。

県北地区漁業士会として、今後もできる限り子ども達や大人に対し、魚に触れる機会を中心とした水産業に興味を持てる場を提供していきたいと考えています。

子供たちを対象とした水産教室

(平戸市立平戸中学校)

１０月１３日、１４日に平戸中学校において、中学２年生計７５名を対象に水産教室を開催しました。講師は１日目が坂野青年漁業士、２日目は山口青年漁業士がそれぞれ務め、また平戸市漁青連の部員にも協力をいただきました。

漁業士から平戸なつ香サバの紹介とそのさばき方の実演指導を行った後、生徒達は各班に分かれて夏香サバとヤリイカをさばき、それぞれムニエルとバター炒めに調理しました。

コロナ禍で様々な活動が制限されていた中、生徒たちにとっては久しぶりの実習活動とあって、楽しく、そして美味しく魚を食べることができたようです。



(平戸市立生月中学校)

11月4日、5日に生月中学校の1年生計43名を対象に水産教室を開催しました。

藤永指導漁業士が講師となり、定置網で獲れたシイラの紹介を行った後、生徒に対しマアジとミズイカのさばき方の実演指導を行いました。

生徒達は、マアジとミズイカをさばいた後、それぞれパン粉焼きとチリソース炒めに調理するとともに、藤永指導漁業士がシイラの刺身を、生月漁協女性部がつみれ汁をそれぞれ用意し、一緒に美味しくいただきました。特に、シイラについてはその大きさと美味しさに驚く子どもが多かったです。



(松浦市立鷹島小学校)

11月25日に鷹島小学校の5年生21名を対象に水産教室を開催しました。

青木青年漁業士、渡邊青年漁業士が講師となりマアジのさばき方の実演指導を行った後、生徒達はマアジの3枚おろしとすり身あげ作りに取り組みました。

また、漁協担当者からロープワークの知識とトラフグ養殖、渡邊青年漁業士から定置網漁業、地元養殖業者からマグロ養殖に関する説明等が行われるなど、児童達にとって地元の水業への理解を深めてもらう大変良い機会となりました。



（平戸市立南部中学校）

11月27日に南部中学校の2年生31名を対象に水産教室を開催しました。

講師の綾香指導漁業士から自身が操業している定置網や漁獲される魚の種類などについて講義を行ったあと、ブリ、ミズイカ、マアジを使ってさばき方の実演指導を行いました。また、山川元漁業士からクエのさばき方の実演指導が行われました。

生徒達は各班に分かれてマアジとミズイカをさばいた後、それぞれムニエルとバター炒めに調理しました。最初は慣れない手つきでさばいている生徒もいましたが、講師の指導を受け、あっという間に上達することができました。



（佐世保市立楠栖小学校）

12月15日に楠栖小学校の6年生25名を対象に水産教室を開催しました。

永安指導漁業士が講師となり、包丁の使い方や地元で養殖されたマアジを使ったさばき方の実演指導を行いました。その後、漁協女性部にも協力をいただきながら、生徒達は各班に分かれてマアジをさばき、マアジのトマトソース煮と特産品である煮干を使ったつくだ煮を作りました。

試食後は永安指導漁業士が養殖業に関するDVD教材の上映と、小佐々地区の養殖業に関する講義が行われ、児童達は熱心に聴いていました。



（平戸市立津吉小学校）

12月21日に津吉小学校の6年生17名を対象に水産教室を開催しました。

講師は白石指導漁業士と山川元漁業士が務め、まず山川元漁業士から自身の漁業の経験談やイカ柴の設置作業を紙芝居形式で説明した後、白石指導漁業士がマアジのさばき方の実演指導を行いました。

児童達は各班に分かれて、マアジをさばいてムニエルに調理したほか、マアジの骨せんべいやミズイカのバター炒めを作りました。慣れない手つきの児童も多かったですが、この水産教室を通して、皆上達することができました。



（平戸市立中野中学校）

1月22日に中野中学校の1年生6名を対象に水産教室を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により学校外からの参加が困難となったことから、講師を予定していた綾香指導漁業士、角田指導漁業士が材料の提供を行い、担当の先生による魚のさばき方の実演指導が行われました。

生徒達は先生の指導を受けながらアジの蒲焼き、ミズイカのバター炒めを調理しました。

コロナ禍のため、このような形での開催となりましたが、生徒達にとって魚の美味しさを知る良い機会になったのではないかと思います。

女性グループを対象とした水産教室

家庭で魚を調理する女性から「スーパーで売っている刺身用ブロックはどう切ればいいのか。」「家庭でなるべくゴミが出ないように調理したい。」との声が県北地区漁業士会に寄せられたことから、当会では佐世保市在住の女性グループを対象に、家庭での魚のさばき方をテーマとした水産教室を12月5日に佐世保市男女共同参画推進センターにて開催しました。

講師は和食料理人の経験を有し、調理師の資格を持つ志水青年漁業士のほか、綾香指導漁業士、藤永指導漁業士が務めました。

志水青年漁業士がマアジを使って基本の3枚おろしとゴミを少なくする工夫としてウロコを取らない応用的なおろし方の指導実演を行ったほか、綾香指導漁業士がカマスを使って大名おろしの指導実演を行いました。

その後、実演した内容に沿って各自でマアジとカマスの3枚おろしに取り組みました。おろした魚はフライ用に衣をつけ持ち帰ってもらい、家庭での実食を促しました。

水産教室は大変好評で、参加者は講師がさばく様子を動画に撮るなど熱心な様子でした。参加者によると、「魚は食べるのは好きだけど、調理の仕方が分からない。」といった悩みを持った方は多いとのこと、今後もこうした機会を作り、家庭での魚食普及に取り組んでいきたいと思えます。



エンジンのメンテナンスに関する学習会

県北地区漁業士会では、漁業技術等の資質向上と普及を図るため、各種学習会を開催しており、11月14日に新松浦漁協において、会員及び地域の若手漁業者を対象としたエンジンのメンテナンスに関する学習会を開催しました。講師として、民間の漁船エンジンメーカーの担当者を招き、実物のエンジンを用いた構造の説明や日常の点検手法、故障診断等の説明が行われました。

参加者からは故障への対処方法に関する質問が出されるなど、熱心な様子で講師の説明を聞いており、エンジンのメンテナンスへの理解が深まったようです。



下五島地区漁業士会

＜下五島地区漁業士会が令和2年度長崎県食育推進活動表彰を受賞＞

五島市からの推薦で下五島地区漁業士会が、長崎県における食育の一層の推進を図ることを目的に、地域において他の模範となる食育活動に取り組んでいる団体として表彰されました。

地元の学校で五島市の水産業に関する講話や、旬の魚の調理講座などの水産教室を行うほか、地域イベントにも出展し鮮魚の調理方法を説明するなどの漁業士会としての活動が魚食普及への貢献と認められました。

県内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、長崎県庁で令和2年8月4日に開催された標記表彰式は欠席しましたが、今後も、引き続き水産教室など魚食普及や地域水産業の振興に資する活動を積極的に行っていきたいと思います。



荒木会長



漁業士メンバー等

＜エンジンメンテナンスの学習会＞

令和2年9月17日、下五島地区漁業士会主催でエンジンのメンテナンスについての学習会を実施しました。

講師は、島内の民間の漁船エンジンメーカーに依頼し、講義していただきました。安全対策や事故防止の観点から、漁業者向けの資料とスライドを用いてエンジンの構造や原理、定期的なメンテナンス方法、メンテナンスを怠った場合のトラブル事例紹介及びトラブルシューティングについて説明がありました。その後、出席した漁業士から、日頃気になっていたエンジンのトラブル等についての質問があり、対処方法等の紹介をしていただきました。



＜ぎばるカップへの下五島地区漁業士会の2回目の参加＞

令和2年11月7日に新上五島町奈良尾総合体育館において、上五島地区漁業士会主催の第27回漁業者交流会「ぎばるカップ」（新上五島町内の水産関係者等の親睦を目的にしたソフトバレーボール大会）が開催されました。昨年に引き続き、下五島地区漁業士会チーム（構成：下五島地区漁業士会員、五島振興局水産課職員、五島水産業普及指導センター職員）が参加しました。

初めて参加した昨年は、1セットもとることができず、4位でした。コロナ禍のため、今年も事前練習はできずに本番を迎えましたが、一致団結し準優勝を果たすことができました。来年は優勝旗を下五島へ持ち帰ろうと今から意気込んでいます。

ぎばるカップ終了後は、同町桐古里郷の公民館において、両漁業士会の交流会が行われ、有意義な情報交換や意見交換ができました。コロナ禍のため、今年は漁業士会関係の研修会や会議が延期となる中、下五島と上五島の漁業士等の交流の良い機会となりました。今後も両漁業士会で交流を持ちたいと思います。



下五島地区漁業士会チーム（右コート）



下五島地区漁業士会チーム

＜水産教室の開催＞

海に囲まれた五島市では、水産業が非常に重要な産業でありながら、四季を通してどのような漁業が営まれてどんな魚介類が獲られているか、また、現在の漁業が抱えている問題などを知る人は少ないと思います。

そこで、子供や父兄に地元の水産業や魚への興味を深めてもらい、自分でさばいた魚を食べて美味しさを実感してもらうことで将来的な魚の消費や五島の魚をアピール、漁業後継者の育成に繋がればとの希望から、県や市水産課と協力しながら水産教室を開催しました。

令和2年度は、コロナ禍のなか、その対策として例年とおりの調理実習ができない学校や延期となった学校もありましたが、実施方法を工夫するなど令和3年1月末時点で9回、合計172名を対象に水産教室を開催しました。

日付	学校等	漁業士および 対象者数	内容
R2年 10月14日	岐宿小学校	谷川和 児童数 19 名	講義「五島の水産業、漁業について」 ハグツ、カヌのさばき方・調理
R2年 10月21日	奈留中学校	松下、城山 生徒数6名	講義「藻場、マアジ養殖等について」 カハチ、マヅのさばき方・調理
R2年 10月30日	五島高校定時制	川上敦 生徒数 15 名	講義「五島の水産業、漁業について」 カハチ、タイのさばき方・調理
R2年 11月4日	福江小学校 5年3組	荒木、片山、山下 児童数 28 名	講義「五島の水産業、漁業について」 ブリ、カヌのさばき方・調理
R2年 11月6日	福江小学校 5年1組	濱村 児童数 30 名	ブリ、カヌのさばき方・調理
R2年 11月11日	福江小学校 5年2組	濱村 児童数 28 名	講義「五島の水産業、漁業について」 ブリ、カヌのさばき方・調理
R2年 12月3日	五島南高校	川上敦 生徒数 22 名	講義「五島の水産業、漁業について」 メヅのさばき方・調理
R2年 12月7日	奈留高校	古巣、城山 生徒数5名	講義「奈留の漁業の現状等について」 ケ、マヅのさばき方・調理
R2年 12月18日	五島海陽高校	荒木 生徒数 19 名	マヅのさばき方・調理

上五島地区漁業士会

＜上五島地区定置網学習会を開催しました！＞

令和2年12月4日、上五島地区漁業士会では管内の定置網漁業の振興を図ることを目的に、上五島地区定置網学習会を開催しました。学習会では、講演会と意見交換会をおこない、漁業士・定置網漁業関係者等合わせて、約20名の参加がありました。



会長による挨拶



学習会場の様子

講演会では、長崎県総合水産試験場の北原科長を講師に招いて、「定置網漁業における海況予測の活用と漁場診断」というテーマで、急潮のメカニズムとその対策や現在開発が進んでいる海況予測モデル等についての説明を受け、参加者は熱心に耳を傾けていました。



講演の様子



講演に関する質疑応答

意見交換会では、日常の操業で困っていることなどについて、活発な情報交換がおこなわれ、最後に普及センターからライフジャケットの着用について説明をしました。

初めての開催ではありましたが、参加者からのアンケート結果では、参加して良かったという声を多くいただき、実りある会になったのではないかと思います。

壱岐地区漁業士会

＜カマス刺網漁研修＞

壱岐地区漁業士会では、新たな漁法の導入や漁獲物の付加価値向上等の検討を行なうため、先進地視察に取り組んでいます。

今回、長崎地区漁業士会 道下政樹指導漁業士（野母崎三和漁協所属）が行なっている、カマス刺網漁を永村会長、吉木漁業士が研修しました。

壱岐でもカマス刺網を行なっている漁業士はいますが、操業の時間帯、網の材質や仕様、魚探・潮流計などの使い方が異なり、大変参考になりました。

また、魚体が傷つかないように丁寧に魚を網から外し、冷やし込む作業等、漁獲したカマスの品質と鮮度を落とさない取組も勉強になりました。

今回の視察で道下指導漁業士に、詳しくお教えいただいた内容を参考に、壱岐での刺網漁業や付加価値向上等にも応用できないか検討していきたいと思っています。



カマス刺網漁の様子



水揚げされたアカカマス

＜鮮度保持技術研修＞

吉岐地区漁業士会では、新たな漁法の導入や漁獲物の付加価値向上等の検討を行なうため、先進地視察に取り組んでいます。

今回、県北地区漁業士会会長 綾香良浩導漁業士（綾香水産、中野漁協所属）が行なっている、鮮度保持技術を永村会長が研修しました。

冷却する効果が高とされる塩分を含む氷を使い、魚種に合わせて氷の量と海水を調節して冷やし込む技術や、漁獲後すばやく生け締めする様子、箱立等の出荷作業を見させていただきました。

今回の視察で綾香会長に、詳しくお教えいただいた内容を参考に、吉岐での漁業や付加価値向上等にも応用できないか検討していきたいと思っています。



船上で生け締めされる魚



氷と海水の配分についての説明



海水と真水で作られた特殊な氷



水揚げされたイサキ

＜大分県とのリモート漁業士交流会＞

壱岐地区漁業士会では、他県の漁業士活動や漁法などについて相互に情報交換し、漁業士会活動や会員の自己研鑽に寄与することを目的に、大分県と高知県との交流会を平成19年度から2年に1回、各県持ち回りで開催しています。

令和2年3月に大分県内での第6回目の交流会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期になっていました。

令和2年11月9日、壱岐と大分県をリモートで繋ぎ、壱岐地区漁業士漁業士会の原田副会長、中村漁業士と、大分県漁業士連絡協議会漁船漁業部会竹田津部会長との間で、近況報告を行ないました。

慣れない画面越しのリモート会議に戸惑いでしたが、壱岐と大分県の漁業士間で、新型コロナウイルス感染症の影響なのか、ブリやヒラマサの単価が安く困っている話や、不漁になっている魚種などについて、意見が交わされました。

早く、通常どおりの三県漁業士交流会が行なえるようになることを期待します。



大分県漁業士会とのリモート交流会の様子

＜低利用・未利用資源のレシピ紹介＞

壱岐市内全域で放送される、ケーブルテレビの情報番組の収録が令和2年8月24日にありました。

壱岐地区漁業士会永村会長が出演し、市内の皆さんに、低利用・未利用資源の美味しい食べ方を知ってもらおうと、クロアナゴ（トウヘイ）とタカノハダイ（キッコリ）の捌き方、食べ方を紹介しました。

クロアナゴは、さばき方の動画と湯引き、しゃぶしゃぶでの食べ方の紹介をし、タカノハダイは、良い魚の選び方、皮を包丁で漉くことで、刺身で美味しく食べられること等を説明しました。

慣れない撮影で、永村会長は、壱岐水産業普及指導センター職員と一緒に緊張し、何回も撮りなおしとなりました。この内容は、壱岐市のケーブルテレビで、8月28日から8月30日（金曜日から日曜日）まで8回放送されました。

今後も、壱岐地区漁業士会は、漁師さんが知っている、おいしい魚や食べ方を情報発信していく予定です。



スタジオの様子



クロアナゴのしゃぶしゃぶ

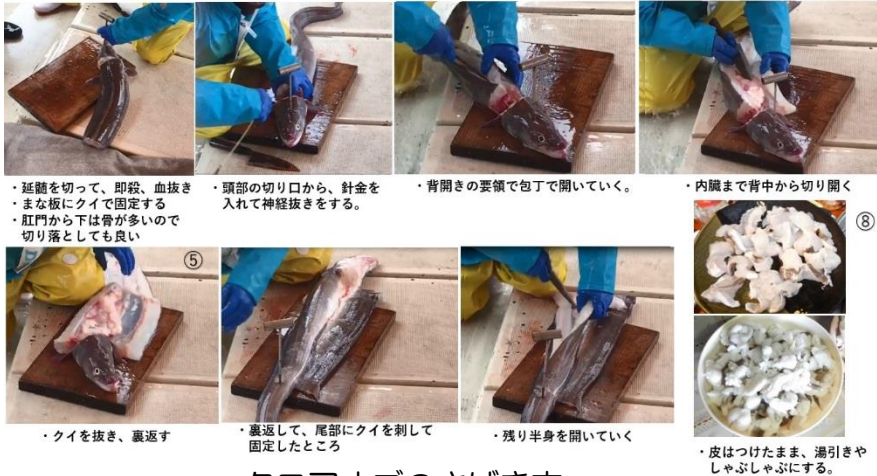


皮を漉いたタカノハダイ



タカノハダイの刺身

クロアナゴ（トウヘイ）の捌き方 「クロアナゴは綺麗な白身で、クセがなく美味しい魚です」



クロアナゴのさばき方

＜中学生への講話のための漁業士の協力＞

令和２年度、吉岐振興局が市内４校の中学３年生を対象に、吉岐市における若者定着促進を目的とした講話を開催し、その中で市内において活躍している一次産業従事者（農業、漁業）も紹介しています。

一次産業従事者の漁業者代表として、吉岐地区漁業士会、下條浩人青年漁業士に取材を受けてもらいました。

談笑も交えながら、取材は進み、下條漁業士からは、「島外に一度は就職したが、吉岐が好きで戻って来た。」「父親の手伝いをしながら漁業を始め、その後船を買って独立した」などの漁業に就業したきっかけの話がありました。

また、漁業の魅力については、「漁獲量が減っており、厳しい仕事であるが、漁師は頑張れば頑張る分、稼ぎにつながる」「釣れなくて悔しいこともあるが、その分、大物を上げた時や大漁した時の仕事の達成感他では味わえない」「一番美味しい処理法方、タイミングで魚が食べられ、子供達も魚が大好きだ」などの話がありました。

中学生への講話が、将来吉岐で就職することも選択肢の一つとして考えてもらうきっかけになればと思います。



吉岐振興局地域づくり推進課の取材を受ける下條漁業士

対馬地区漁業士会

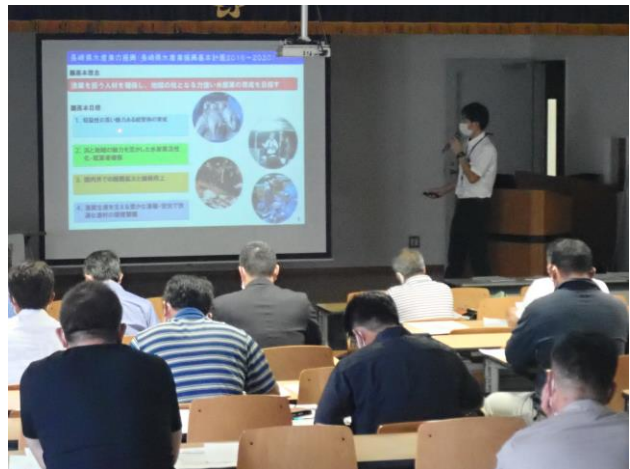
＜学習会の開催＞

令和2年7月8日に対馬市厳原町において、対馬海上保安部交通課、長崎県水産部漁政課の職員を講師に招き、「漁船の海難防止について」「長崎県水産業基本計画について」をテーマに学習会を開催しました。

最後に、新規普及指導員による総合水産試験場で勤務時の研究紹介を行って学習会を閉じました。



対馬海保による説明



漁政課による説明

＜ジャパネットたかたとの意見交換＞

対馬地区漁業士会では、漁業士がインターネット通信販売を行う試みを行っています。

令和2年9月13日、対馬振興局にて、インターネット販売に関して、大手通販会社ジャパネットたかた東京オフィスのバイヤー磯島氏とリモート通信を使い意見交換会を行いました。

ジャパネットたかたの磯島氏から、ジャパネットたかたの取り組みや一般的な通販販売の仕組みについて、ご教授いただきました。また、今後、対馬から通信販売によって成功するためのアドバイスをいただきました。対馬地区漁業士会からは早田会長ほか4名が参加して、現在の取り組み状況について説明を行い、活発な意見交換が行われました。



意見交換会

＜アイランダー2020～オンライン～＞

令和2年11月20～29日に開催された全国の島々が集まる祭典「アイランダー2020～オンライン～」に参加し、対馬の魅力を発信しました。

対馬地区漁業士会からは、令和2年11月21日に「対馬のYoutuber ぶり秒殺～プロによる魚のさばき方講座～」と題して、早田会長がブリのさばき方を実演し、刺身、漬け丼、ブリのしゃぶしゃぶを調理する番組、令和2年11月28日漁業士会から4名出演し、クイズ&トークショー「対馬の海からこんにちは」と題して、対馬の海に関するクイズと対馬の海に関するお題に沿って、参加された漁業士が意見する座談会の番組を全国に向けて放送しました。



アイランダー2020 告知チラシ ブリ解体ショー（NHK 全国ニュースで紹介）



クイズ&トークショー「対馬の海からこんにちは」

＜海神神社での奉納・寿福院での護摩炊き法要＞

世界的な新型コロナウイルス感染症により、水産業の関係者にも経済的な影響が出ているため、コロナ退散・事業繁栄などの奉納・お祓いや法要・祈願を行いました。

令和2年12月8日、峰町木坂の海神神社では、扇指導漁業士提供のブリを早田会長による奉納の舞を行った。

令和3年1月13日、厳原町西里の寿福院では、護摩炊き法要によりコロナ退散や水産資源の回復、事業繁栄などを祈願しました。



海神神社での奉納



寿福院での護摩焚き法要

＜水産教室の開催＞

対馬地区漁業士会では、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から対馬島外に出る機会が減った子供達を元気にして、対馬の思い出になるイベント（水産教室）を対馬市内小中高校の協力のもと企画・開催することとしました。

（１）対馬市立大船越小学校

○開催日：令和２年６月２日

○受講者：５年生 １１名

○講師：犬束部長（美津島町漁協女性部）、山元強太氏（美津島町高浜漁協所属）

- 内 容：山元氏の定置網漁業体験後、犬東氏によるトビウオのおろし方実演の後、児童たちがトビウオを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



定置網漁業体験



犬東氏によるトビウオのおろし方実演

(2) 対馬市立豆酛中学校

○開催日：令和2年7月2日

○受講者：全学年 23名

○講 師：早田会長

○内 容：豆酛中学校ではICTを活用したカリキュラムを行っており、その一環として、対馬市内で先進的なICTによる情報発信を行っている早田会長が動画の活用方法などの講義を行いました。



早田会長によるICT活用方法講演

(3) 対馬市立東小学校

○開催日：令和2年9月29日

○受講者：5、6年生 12名

○講 師：福田指導漁業士、上対馬南漁協青壮年部3名

○内 容：上対馬南漁協青壮年部 沖中氏によるカマスのおろし方実演の後、児童たちがカマスを各自2尾ずつ三枚におろし、魚フライに調理して試食しました。



沖中氏によるカマスのおろし方実演 児童に衣のつけ方を指導する福田漁業士

(4) 対馬市立鶏鳴小学校

○開催日：令和2年10月2日

○受講者：5年生 69名

○講 師：吉村（亮）青年漁業士

○内 容：鶏鳴小学校の総合学習の一環として、対馬の水産業について吉村(亮)青年漁業士が使用している漁法や対馬の魚について講義を行いました。



吉村(亮)青年漁業士による対馬の水産業に関する講演

(5) 対馬市立西小学校

○開催日：令和2年10月15日

○受講者：5年生 15名

○講 師：扇指導漁業士

○内 容：扇指導漁業士によるアジのおろし方実演の後、児童たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



扇指導漁業士によるアジのおろし方実演



おろし方を指導する扇指導漁業士

(6) 対馬市立豆酛小学校

○開催日：令和2年10月20日

○受講者：5、6年生 13名

○講師：岸川青年漁業士、勝井青年漁業士

○内容：岸川青年漁業士によるアジのおろし方実演の後、児童たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



おろし方を指導する岸川青年漁業士



おろし方を指導する勝井青年漁業士

(7) 対馬市立金田小学校

○開催日：令和2年10月22日

○受講者：4年生 9名

○講師：江川指導漁業士

○内容：江川指導漁業士によるアジのおろし方実演の後、児童たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



江川指導漁業士によるおろし方実演



おろし方を指導する江川指導漁業士

(8) 対馬市立久田中学校

○開催日：令和2年11月13日

○受講者：1年生 18名

○講師：岸川青年漁業士、森青年漁業士

○内容：岸川青年漁業士によるアジのおろし方実演の後、生徒たちがアジやサバを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



岸川青年漁業士によるおろし方実演



おろし方を指導する森青年漁業士

(9) 対馬市立小綱小学校

○開催日：令和2年11月19日

○受講者：5、6年生 7名

○講師：赤木指導漁業士、作元青年漁業士

○内容：作元青年漁業士によるアジのおろし方実演の後、児童たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



作元青年漁業士によるおろし方実演



おろし方を指導する赤木指導漁業士

(10) 対馬市立佐須中学校

○開催日：令和2年11月20日、12月4日

○受講者：全学年 23名

○講師：谷本部長（厳原町漁協女性部）

○内容：谷本部長によるアジのおろし方実演の後、生徒たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、ソテーに調理して試食しました。



谷本部長によるおろし方実演



おろし方を指導する谷本部長

(11) 対馬市立美津島北部小学校

○開催日：令和2年11月25日

○受講者：3、4年生 8名

○講師：犬束(徳)指導漁業士、西川青年漁業士、山元強太氏（美津島町高浜漁協所属）

○内容：山元氏の定置網漁業体験後、犬束氏によるクロムツのおろし方実演の後、児童たちがクロムツを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



定置網漁業体験



犬束(徳)指導漁業士によるクロムツのおろし方実演



おろし方を指導する西川青年漁業士



クロムツを調理する子供たち

(12) 対馬市立鶏知中学校

○開催日：令和2年12月1日

○受講者：1年生 66名

○講師：犬束部長（美津島町漁協女性部）、美津島町西海漁協青壮年部3名

○内容：犬束部長によるアジのおろし方実演の後、生徒たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



犬束部長によるカマスのおろし方実演



おろし方を指導する西倉青壮年部長

(13) 長崎県立上対馬高等学校

○開催日：令和元年12月3日

○受講者：1年生 32名

○講師：早田会長

○内容：早田漁業士がサバの三枚おろしを実演後、生徒たちが各自でサバをおろし、フライにして試食しました。



早田会長によるおろし方実演



おろし方を指導する早田会長

(14) 対馬市立大船越中学校

○開催日：令和2年12月16日

○受講者：1年生12名

○講師：犬束(徳)指導漁業士、西川青年漁業士

○内容：大船越中学校ではSDGs教育の一環で、海藻を食べるイスズミの有効活用する方法を学びました。

犬束(徳)指導漁業士によるイスズミのおろし方実演の後、生徒たちがイスズミを使った酢豚風に調理して試食しました。



犬束(徳)指導漁業士によるおろし方実演



おろし方を指導する西川青年漁業士

(15) 対馬市立今里小学校

○開催日：令和2年12月16日

○受講者：3～6年生 14名

○講師：美津島町漁協尾崎支所青年部5名

○内容：財部顧問によるアジのおろし方実演の後、児童たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



財部顧問によるおろし方実演



アジを調理する子供たち

(16) 対馬市立厳原小学校

○開催日：令和3年1月29日

○受講者：6年生 38名

○講師：槇野指導漁業士

○内容：槇野指導漁業士によるアジのおろし方実演の後、生徒たちがアジを各自2尾ずつ三枚におろし、かば焼きに調理して試食しました。



槇野指導漁業士によるおろし方実演



おろし方を指導する槇野指導漁業士

(17) 四季の会

○開催日：令和2年12月23日

○受講者：対馬市内地方機関長 14名

○講師：早田会長

○内容：対馬に赴任された方を対象として、対馬の地魚を知ってもらい、島を離れてからも対馬の応援団としてPRしてもらうことを目的に、「大人の水産教室」とし実施しました。今回は、アジを使って、各自三枚におろしてもらい、フライと煮付けを作ってもらいました。



早田会長によるおろし方実演



おろし方を指導する早田会長



アジを調理中



当日は、感染予防のためテイクアウトにしました。

NAGASAKI Fishery worker 超COOL

ながさき
漁業
伝習所

長崎県での漁業就業に関するご相談はこちらまで！

ながさき漁業伝習所

〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3番1号 TEL:095-895-2832 FAX:095-895-2583

Instagram



Twitter

